

令和5年度第9回七戸町教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和5年12月20日(水) 午前9時28分
- 2 場 所 七戸庁舎 3階 第1会議室
- 3 出席者 教育長 附田道大、委員 山田典郎、同 附田由喜枝、同 菊池龍達、同 盛田元之
- 4 欠席者 なし
- 5 出席職員 学務課長 附田良亮、生涯学習課長(兼中央公民館長・南公民館長・中央図書館長) 田中健一、世界遺産対策室長 鳥谷部伸一、学務課長補佐 古屋敷博
- 6 議事日程
 - 日程第1 議事録署名委員の指名について
 - 日程第2 会期の決定について
 - 日程第3 傍聴人の制限について
 - 日程第4 報告第16号 令和5年度12月教育長等一般経過報告について
 - 日程第5 報告第17号 令和5年第4回七戸町議会定例会(12月)の報告について
 - 日程第6 報告第18号 七戸町スポーツ顕賞審議会委員の委嘱の報告について
 - 日程第7 報告第19号 七戸町文化賞審査会委員の委嘱の報告について
 - 日程第8 その他 学務課からの連絡事項
- 7 傍聴人 なし

教育長	<p>ただいまから、令和5年度第9回七戸町教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>ただいまの出席者は4名で、定足数に達しておりますので、会議は成立しております。</p> <p>日程第1、議事録署名委員の指名をいたします。1番山田委員と2番附田委員を指名いたします。</p> <p>日程第2、会期の決定をいたします。会期は12月20日、本日、1日としたいと思いますが、御異議ありませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
教育長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、会期は本日1日と決定します。</p> <p>日程第3、傍聴人の人数の制限についてお諮りします。</p> <p>傍聴人の人数を会議傍聴規則第3条の規定により、6人に制限したいと思います。</p> <p>御異議ありませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
教育長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>日程第4、報告第16号「令和5年度12月教育長等一般経過報告について」学務課長から説明願います。</p>
学務課長	<p>(報告第16号について、資料に基づき説明)</p>
教育長	<p>説明が終わりましたので、これより質疑を行います。</p> <p>質疑はございませんか。</p>

	(なしの声)
教育長	次に、日程第5、報告第17号「令和5年第4回七戸町議会定例会（12月）の報告について」学務課長から説明願います。
学務課長	(報告第17号について、資料に基づき説明)
教育長	説明が終わりましたので、これより質疑を行います。 質疑はございませんか。
	(なしの声)
教育長	次に、日程第6、報告第18号「七戸町スポーツ顕賞審議会委員の委嘱の報告について」生涯学習課長から説明願います。
生涯学習課長	(報告第18号について、資料に基づき説明)
教育長	説明が終わりましたので、これより質疑を行います。 質疑はございませんか。
	(なしの声)
教育長	次に、日程第7、報告第19号「七戸町文化賞審査会委員の委嘱の報告について」生涯学習課長から説明願います。
生涯学習課長	(報告第19号について、資料に基づき説明)
教育長	説明が終わりましたので、これより質疑を行います。 質疑はございませんか。
	(なしの声)
教育長	次に、日程第8、その他、連絡事項について学務課長から説明を求め

学務課長	<p>ます。</p> <p>(その他連絡事項について、資料に基づき説明)</p>
教育長	<p>説明が終わりましたので、順に確認していきます。</p> <p>1月・2月の定例教育委員会の開催日時について、1月定例教育委員会を1月23日(火)9時30分から、2月定例教育委員会を2月21日(水)9時30分からとします。</p> <p>その他、何かございませんか。</p>
世界遺産対策室長	<p>オンラインでも二ツ森貝塚館を見に行こう！という資料について説明いたします。</p> <p>これは二ツ森貝塚館の集客アップをねらうということで、パソコンやスマートフォンを使ってストリートビュー感覚で二ツ森貝塚館の館内を見られるというものです。</p> <p>美術館や博物館の集客でカギになるのは、企画展の開催とその周知や広告だと思えます。どんなに魅力的な企画展を開催しても、その展示内容に興味を持ってくれる人に届かなければ集客は見込めません。</p> <p>縄文遺跡群世界遺産本部が運営する「北海道・北東北の縄文遺跡群」の公式ホームページでは、今年度のアクセス数が約232万回あり、ちなみに、令和4年度は約188万回ありましたが、デジタル媒体での情報発信が積極的に行われています。</p> <p>そこで、今回の「ストリートビュー感覚で見られる二ツ森貝塚館」は、現地に足を運ばずとも、ストリートビュー感覚で館内や展示物が閲覧できるというものです。</p> <p>17の構成資産の中でこの取り組みをしているところはありません。</p> <p>日本全国で見れば、規模は全く違いますが、国立博物館や国立近代美術館で取り組んでいますし、世界的には、大英博物館などもストリートビューによって作品を閲覧することができます。</p> <p>今回、二ツ森貝塚館の集客アップを目的としていますが、広い視点で捉えますと、オンラインで興味を持ってくれる「関係人口」や、その方々がいつかは現地を訪れてくれて、その足で鷹山宇一記念美術館や道の駅しちのへにも立ち寄るなどの「観光人口」の創出、また、七戸町の良さ</p>

菊池委員	<p>に気づき住みたいという方の「定住人口」の創出にもつながればと考えています。</p> <p>開始は七戸町観光情報サイト「旅の蔵」で12月末公開予定です。</p> <p>縄文遺跡に興味がある方は七戸町観光情報サイトにアクセスすると思うので、全く違うウェブサイトを開覧したときに今回の広告が出てくるとか、興味がない人にも届くような方法を1つ加えてもいいのではないかと思います。</p>
世界遺産対策室長	<p>それも必要だと思います。先ほど、縄文遺跡群世界遺産本部へのアクセス数が約232万回あったということで、そこからリンクできれば、多くの方が閲覧してくれると思っていて、リンクが可能か協議してみたいと思います。少しずつリンクするところを増やすことが出来れば良いと思います。</p> <p>これから、実際に足を運んだ人の数と、デジタルで足を運んでくれた人の数を報告できると思います。</p>
山田委員	<p>商工観光課と連携して、二ツ森貝塚館へ来たら、道の駅の割引券を渡しますよとか、ここ経由で道の駅へ行ったら良いことありますよとか、観光施設とタイアップした取り組みを活用して集客に努めてはいかがでしょうか。それと、二ツ森貝塚館へのアクセスがわかりづらいので、道の駅を活用してアクセス方法を周知してはどうでしょうか。</p>
世界遺産対策室長	<p>町内の周遊観光という意味で、それはすごく大切なことだと思いますので、商工観光課と話し合ってみます。</p>
山田委員	<p>集客ということであれば、例えば、仙台城VR体験のように、将来的に二ツ森貝塚史跡公園のほうで、昔はこうだったんですよというようにできればよいと思います。</p> <p>今回の「ストリートビュー感覚で見られる二ツ森貝塚館」については、他でやっていないことを最初にやるということで、すごいことだなと思います。</p>

附田委員	企画展は年間どのくらい開催していますか。
世界遺産対策室長	年に1回程度の開催です。
附田委員	<p>いま、ユーチューブで人気が広がっているSHOGEN(ショーゲン)という方で、アフリカのタンザニアのとある村だけで受け継がれるティンガティンガというペンキアートを学んできた方がいます。</p> <p>本を出版すると予約の段階で完売して、なかなか手に入らないくらい人気があって、その方が青森市に来て講演するということで行ってきたのですが、その内容は、縄文時代はこういう時代だったという教えを、考え方を話したり、子ども達を集めて廃校になった学校の壁に絵を書いたり、ごみ収集車に絵を書いたり、そういうイベントをやっていることなどを話してくれました。</p> <p>七戸町は、縄文遺跡がありますし、鷹山宇一記念美術館もありますし、縄文とアートを結び付けてイベントができれば、すごい注目されるだろうなと思っています。</p>
教育長	<p>その他、何かございませんか。</p> <p>(なしの声)</p>
教育長	<p>以上で、本日予定された日程は全て終了しました。</p> <p>よって、本日の会議を閉会します。お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">閉会 午前9時51分</p>

以上の議事録は、学務課長補佐が記載したものであるが、内容に相違ないことを証明するためにここに署名する。

1 番 山田委員

2 番 附田委員
